掲載日: 2023/1/8 17:37
作　成: 2022-11-25

第53回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

1 開　催　日　2022年11 月24 日 13:00～(15:00)　第4木曜日
大阪工場内　ゆうゆう会館 ﾆﾃ

2 参 加 人 数　・男性8名・女性2名　**計10名**

3 今回の季語　十一月の季語全般（季語重なりがないこと！）

4 選句の結果　⁂ 下線を表した句は、参加者本人の特選句！

- スーパーの見切り場密や冬日暮れ
- テーブルの湯呑の影に秋ふかむ
- 冬隣り書き込み数多カレンダー
- 七五三家族の人波社あり
- 栞挿し一書の閉づる文化の日
- 山道の傘持つ手にも秋雨かな
- もう出来る作り笑顔や七五三
- 雨あけて錦帯踏むサクサクと
- 秋夜灯や造替臣のうかぶ影
- 逆で勝ちワールドカップ冬の花
- 前撮りの花嫁喜々と小六月
- 晴れ着着て祖母にひかれる七五三
- 干し竿の部屋に伸びたる秋の影
- 暦見てもう晩秋と病める妻
- 秋清がし大社巫女舞古を偲ぶ
- 朝霧に浮くや国見の山の峰
- 街人のコート姿に季を知る
- 箒目の渦へ一片落葉かな

5 講評・添削　披講；東 さん

1）語彙・表現良い句、見直すべき句

・小六月(ｺﾛｸｶﾞﾂ)　⇒陰暦10月の異称。別名;小春
　;雨風も少なく、春を思わせる暖かい日和の続くところからいう。
・冬隣り(ﾌｭﾄﾅﾘ)　⇒冬の季節隣つまり晩秋の時期をいう。
・逆で勝ち(ｷﾞｬｸﾃﾞｶﾁ)　⇒"逆転勝ち"の意味とは違う！
　;負けると思われていたのに逆に勝ってしまった状況。
・街人のコート 姿に季を知る　⇔　街角のコート姿に季を知る
　⁂"ｺｰﾄ姿"が人を表現。

2）三段切り！
・くねる道 紅葉人波 永観堂
　1段　2段　3段

3）変調！
・冬朝炊事 手すりすり 米洗う
　7　5　5

4）季語無・当該季外れ?!・季語重なり！ ＋ 季語色々！
・秋深き朝露立ちて雲の中　　・身に沁みる・・・・・
　⁂季語重なり　　⁂季語

5）助詞の使い方

6）字余り・字足らず

※ 豆知識！
・身に沁みる置行堀の短歌集
　(ｵｲﾃｹﾎﾞﾘ)
"江戸時代の江戸本庄の堀の名前"
;釣りをして帰ろうとすると、水の中から寂しいから置行と呼ぶ声がして、魚を返すまで声がして･･･「置いてけ堀り」と呼ばれる

選 外 句
- 熱燗の勢い借りて喜寿超えて
- 散り積もり落葉の中にけもの道
- 冬朝炊事手すりすり米洗う
- 霜の夜温め直すミルクティー
- 子や孫ととばし楽しむ柿の種
- 木ノ葉舞い街樹も径も錦なす
- くねる道紅葉人波永観堂
- 秋深き朝露立ちて雲の中
- 身に沁みる置行堀の短歌集
- 「COP27」四季は何処や冬らしく
- 川に落ち流れる紅葉大和川
- 窓越しに朝霧見えし妻の笑み

※俳句と短歌の違い　例:冬の朝

俳句	17音	5･7･5	季語 要	5音
短歌	31字	5･7･5･7･7	季語不要	3文字

6 次回(＃54)開催日　2022年 12月 22日　13:00～(15:00) 第4木曜日
兼題：十二月の季語全般　注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと！
歳時記を参考に！　注2) "五七五"の17音(文字)を満足すること！

大阪工場内　ゆうゆう会館ﾆﾃ